

最初期の家庭用高輝度ハイビジョン受像機

登録番号	第 00226 号		
登録年月日	平成29年9月12日	登録区分	第一種

名称 (型式等)	36型 HD (ハイビジョン) トリニトロンカラーテレビ KW-3600HD
所 在 地	宮城県多賀城市
	三井倉庫サプライチェーン株式会社
所 有 者 (管理者)	ソニー株式会社
製作者(社)	ソニー株式会社
製 作 年	1990年
初 出 年	1990年
選定理由	最初期のアナログ方式ハイビジョントリニトロンテレビである。1964（昭和39）年の東京オリンピック後にNHKで将来のテレビ方式の研究がスタートし、その成果は走査線数1,125本、アスペクト比5:3（後に16:9）の暫定規格に結び付いた。高品位テレビ方式の実現には、伝送方式と大画面ディスプレイが必須とされた。1980年代後半、日本独自のMUSE方式が開発され、世界初の高品位テレビ（ハイビジョン）の実験放送が日本で始まった。本機は、民生用として重要な高輝度で36型という大画面の高精細CRTと、MUSEデコーダ接続端子を装備し、まだハイビジョンが定時実験放送中だった1990（平成2）年に発売された。アナログ方式はその後デジタル方式に移行するが、本機は、高精細テレビ放送の将来性を実証したもので、ハイビジョン普及の先駆けとして重要である。
登録基準	ーロー（国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）

公開・非公開	非公開
写 真	
その他参考となるべき事項	